

サボテンの育て方 1

分布・種類

南北アメリカ大陸の温帯～熱帯に分布し、球状・柱状・ウチワ状・コンブ状・樹木状など、2,000種以上あります。

栽培の要点 (玉サボテン)

栽培設備

生育温度を保ち、長雨を避けるために、フレームや温室を使います。

温度

春と秋は日中の温度をできるだけ高くし、夏は夜の温度を下げ、涼しくしてやります。冬は3～5℃以上に保温します。

日照

秋から春には十分日光に当てますが、夏の直射日光はさけてやります。

水やり

春から秋までは、表土が乾いた1日後にたっぷり与え、冬はやらずに休眠させます。ただし、夏の暑さで生長のおとろえた株や、梅雨期にはひかえてください。

肥料

植え替えの時、鶏ふんかマグアンプKを少し鉢底に入れます。

植え替え

時期

毎年3月に1回、冬に生長する種類は9月に行います。

用土

排水・保水・通気性よく配合します。

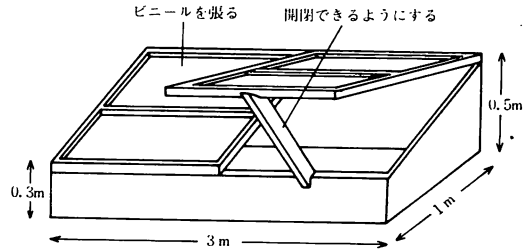
- 〈配合例〉 川 砂……6
腐 葉 土……2
く ん 炭……1
カキガラ……1

鉢

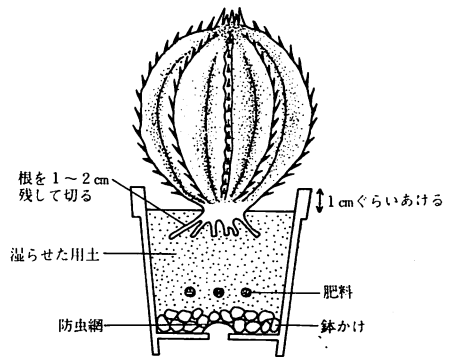
小さめの素焼鉢がよく、植えるサボテンよりひとまわり大きいものを用います。

植え替え後の管理

日やけ防止のため、チリ紙を1枚かけて暖かい場所に置きます。1週間後にチリ紙を取り、水をやります。



フレームの例



おもな植え方

おもな害虫と薬剤

害 虫	個所	時 期	薬 剤
カイガラムシ	莖	6～8月	スプラサイド 1,000倍液
アカダニ	莖	7～9月	ケルセン、アカル 1,000倍液
ネジラミ	根	春～秋	オルトラン粒剤、 ダイジストン粒剤

サボテンの育て方 2

ふやし方 (玉サボテン)

さし木

時期

3～9月

方法

胴切り

ふやすだけでなく、形の乱れた株をつくり直したり、根腐れした株を助けるために行います。

子とり

子吹きのような種類で行います。自然にはずれる子そのまま、はずれにくい子はナイフで切りとり、切り口を乾燥させてからさします。

さし木後の管理

チリ紙をかぶせて日やけを防ぎ、暖かい場所に置きます。発根には1か月ほどかかりますので、やたらに場所を移動させないようにしましょう。根が1～2cm伸びたら植え付けます。

つぎ木

時期・天候

3～9月。晴れた日の午前中が最適です。

台木に用いるサボテン

柱サボテン (ソデガウラ・リュウジンボク)

ウチワサボテン (ハイウチワ・ホウケン)

玉サボテン (タンゲマル・カセイマル)

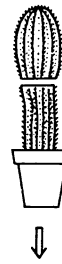
モクキリン

サンカクチュウ

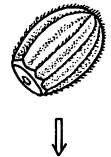
つぎ木後の管理

風が当たらない半日陰におき、乾燥ぎみにします。活着したかどうかは2・3日で決まりますが、糸をはずすのは1週間後です。水やりは他のものと同じですが、1か月間は接着面に水をかけないようにします。

① 適当なところで切る

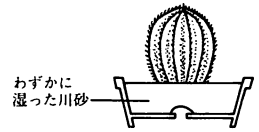


② 縁を斜めにそぎ、切り口を1か月くらい乾燥させる



③ さし床に置く

残った部分から子がでる (子とり)

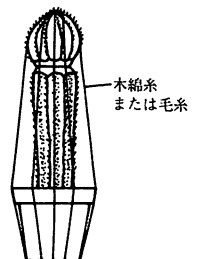


さし木のしかた (胴切り)

① 台木とつぎ穂を水平に切り、縁を斜めにそぐ



② 台木とつぎ穂の切り口を合わせ、糸で固定する



つぎ木のしかた